

平成30年度 第1回高尾山応援基金運営協議会

議事録

日 時 平成30年6月22日（金）

午後3時00分 開会

場 所 高尾599ミュージアム2F会議室

平成30年度1回高尾山応援基金運営協議会議事録

平成30年6月22日(金)

午後3時開会

高尾599ミュージアム2F

1. 開 会

挨拶 会長 大野 彰

本日は大勢の方に参加いただきありがとうございます。平成30年度1回高尾山応援基金運営協議会を開催します。応援基金は、まだまだ充分なところまでいきませんが、着実に少しずつでも高尾山の役に立つようになればいいと思っていますので、よろしく願いいたします。

2. 委員出席人数

事務局 定足数20名中18名出席で協議会は成立。

3. 会 議

事務局側	司会進行	総務課長	及川 純一
委員座長		法政大学教授	杉崎 和久

第1号議案 H29年度 高尾山応援基金事業報告及び決算書

第2号議案 H30年度 事業計画及び予算書(案)

報告事項1 高尾山応援基金 設立1周年企画(案)

報告事項2 山の日イベントへの参加について(依頼)

事務局 資料の確認後、新任委員の佐藤伸二様、田口忠久様の紹介

佐藤委員 高尾山薬王院用度部長の佐藤でございます。薬王院の人事異動の関係で、本日初めて出席させていただきます。高尾山環境保全運営協議会の会計をしております。主旨は同じだと思いますので今後ともよろしく願いいたします。

田口委員 高尾森林ふれあい推進センターの所長をしております田口でございます。4月に赴任しまして3ヶ月ほどですが、ふれあい推進センターも小学生を対象に森林教室をやっております。山の日イベントがあると思いますが、センターでも合わせて色々な企画を行いたいと思います。今後ともよろしく願いいたします。

事務局 定足数は委員20名中18名の参加、定足数に達しておりますので会議は有効に成しました。協議会要綱に従い、議事進行は座長の杉崎先生をお願いしたいと思います。

杉崎座長 本日は2つの議案とその他報告事項に整理して進めたいと思います。本日は議案が2つあります。1つ目は昨年度の事業報告及び決算の審議で資料1を使います。次がH30年度の事業計画及び予算についてで資料2と3を使います。資料4は報告事項です。はじめに第1号議案「H29年度 高尾山応援基金事業報告及び決算書」について事務局から説明をお願いします。

事務局 第1号議案「H29年度 高尾山応援基金事業報告及び決算書」について説明します。H29年度は、初年度ですので基金の幅広いPR、啓発活動を中心に実施。主な活動は、6月に視察に行っていました。山の日由高尾山麓でPR活動をスタート8月11日～13日の3日間、599ミュージアム、高尾山口駅前、清滝駅前の3カ所で募金活動と合わせ実施。599ミュージアム様にご協力頂き、寄付付き商品の販売も同日開始。

H29年度は運営協議会を4回開催しました。

第1回の4月19日には、事業計画と今後のスケジュールの確認。

第2回6月22日は、これまでの協議会の総括と8月のイベントの確認。

第3回は10月25日、要綱の変更・山の日イベントの報告と今後の取組の協議を行い、リーフレットの「あつめる」「つなぐ」「つたえる」「ひろげる」の4つのテーマに基づき今後の協議会のあり方・進め方の確認。

第4回3月15日は、役員を選出ともみじまつりの事業報告、H30年度の事業計画案の提案。

主要行事については、山の日イベント3箇所で、募金のPR・学生によるアンケートの実施し、3日間充実した募金活動が行えた。

もみじまつりについては、11月11日・12日に実施し、初めて高尾山頂で募金活動を実施。

協力及び後援事業として、山の日にグリーンクリーン作戦を実施。

年間の募金結果は、市からの150万円の出捐金、基金の残金については、1,623,180円。寄付の総額は、イベントの募金、寄付付き商品、常設の募金箱を合わせて、522,466円が皆様から寄付を頂いた金額となります。

山の日イベントの事業報告です。清滝駅では「はっちお〜じ」のPR、マイ箸作りを実施し好評。杉崎ゼミの学生の皆様に高尾山に関するアンケート調査をして頂きました。

また、各企業様からノベルティを頂き募金活動の促進に活用させて頂きました。「高尾登山電鉄」様、「京王電鉄」様。「JR高尾駅」様、「多摩信用金庫」様、「ふれあいセンター」様、「八王子観光課」様からノベルティの提供を頂きました。

オリジナルの寄付付き商品は、山の日から販売を開始し、売り上げの1割を寄付して頂きました。

広報・マスコミ取材関係として、4月28日に八王子市のプレスリリースがあつてから、NHK、テレビ朝日、MXテレビ、J-COM、文化放送などの取材を受け、多くのマスコ

ミに注目をされた。

もみじまつりについては、山頂の募金が好調で2日間で8万5千円、合計で122,000円となっています。

基金の決算書ですが、八王子市の出捐金が150万円、3カ所の募金箱が35,641円

イベントについては、山の日3日間で288,787円、もみじまつり2日間で122,768円、寄付付き商品は年間で76,270円、合計の収入が2,023,477円

支出については400,000円程あります。初期費用としてリーフレットの、募金箱、振込依頼書の作成など含め、229,500円となります。費用弁償は、委員会の参加者への費用となります。要綱に基づいて1人1,000となります。

イベント経費については、山の日・もみじまつりなど消耗品として17,000円。協会事務費は、年間で10万円。その他、消耗品・通信費、切手代など21,755円
合計で400,297円。収支で残高が1,623,180円。決算については以上。

杉崎座長 事務局から事業報告、決算報告がございました。続いて小宮さんから監査報告をお願いいたします。

小宮監事 会計監査の小宮です。平成29年度会計監査について報告します。
私たち監事は、平成30年5月31日に、平成29年4月1日から平成30年3月31日の平成29年度における、高尾山応援基金運営協議会における会計及び、事業内容の歳入歳出について、会計帳簿並びに証拠書類を監査した結果適当と認めます。平成30年6月22日 会計監査、林康男、小宮猛 以上

杉崎座長 ありがとうございます。最終的にはご承認をいただきたいのですが、その前にご質問、ご意見があればお願いします。
特になければご承認をいただきたいのですがいかがでしょうか。

一 同 (「異議なし」の声)

杉崎座長 ありがとうございます。第1号議案「H29年度 高尾山応援基金事業報告及び決算書」は承認されました。
続きまして第2号議案「平成30年度事業計画について」を資料2、資料3を使って事務局から説明をお願いします。

事務局 第2号議案「平成30年度事業計画及び予算書」について(案)です。
前回の協議会の中で、目的をはっきりさせたものです。高尾山の魅力を未来に継承することを具現化するために3本の柱を設定。

「活動支援事業」「参加型事業」「課題解決事業」を事業の柱とする。

活動支援事業は、高尾山お魅力を高める団体に助成を行い支援をしていく。
現在該当する団体を調査中。東京都からの依頼でブッポウソウの個体数の回復事業があり、明治の森の国定公園50周年記念イベントで八王子・日野カワセミ会が巣箱を設置する活動をしており、協議会の事業とマッチするので、活動費の助成は妥当ではないかという提案。

課題解決事業は、アンケートを取った中で高尾山の情報提供をしていく提案です。1つは、情報発信事業として位置情報を使ったアプリを使用。ゴミの持ち帰りや、高尾山ルールなど試験的に行ってみてはどうかという提案。これについては後程、市から説明があります。

参加型事業は、昨年好評だった箸作り体験を今年も実施してはどうかという提案。次にクイズイベントは、先ほどのアプリを利用してクイズ形式でスタンプラリーが出来ないかという提案。

次に募金活動は、既に若葉まつりは実施をしております。5月19日・20日。山の日の8月11日・12日を予定しております。もみじまつりについては、11月の10日、11日を予定。節分会についても検討中。

その他は、事務局運営費として10万円を計上。
ホームページ開設については、募金をどのように使うか、協議会の内容やご意見等の情報発信をする場として考えており、初期費用として10万円ほど計上。

若葉まつりの報告です。期間は4月28日(土)、29日(日)の2日間10時～3時、場所は清滝駅前と山頂で実施しました。募金額については、2日間で山頂が130,000円、清滝が76,000円、合わせて207,000円ほど頂戴した。
予算案です。イベント募金として500,000円の計上、常設募金箱については、50,000円、寄付付き商品は、80,000円を計上しております。合わせて収入は630,000円となります。

支出については、リーフレットの増刷とホームページの開設費用として、172,000円を計上。費用弁償として70,000円、事務局へは昨年同額の100,000円を計上、イベント事業費については、3つの事業を実施していきますので、258,000円を計上しております。消耗品が30,000円、合計630,000円の支出を考えております。

事業計画及び予算書(案)についての説明は以上です。

観光課

高尾山応援基金1周年企画について説明します。

その前に、先ほど説明のあった活動支援事業につきまして補足説明。

事業内容は、ブッポウソウについて巣箱設置による繁殖個体数の回復を目指す事業。広島県や岡山県では巣箱を設置して個体数が回復した実例があり。具体的な補助の内容は、巣箱の作成費用の補助が出来なかつたという打診を東京都からもらっ

ている。この事業自体は都の明治の森国定公園50周年記念イベントの一環で行われる模様。東京都が正式にプレスリリースするのは7月の前半となる予定なので、それまでは公表は避けてほしい。

1周年企画について説明。

平成29年3月10日に設立をして、8月11日の山の日イベントで基金活動を開始して1年となるので、1周年企画として提案。

市内の事業者である(株)夢現舎からの提案。(株)夢現舎は、八王子市の中小企業支援商品認定制度の認定実績のある企業で、八王子祭りや小田原城の解説アプリなどの実績がある。4月からは浅草で、7月からは多摩市と京王電鉄様とイベントのアプリを担当。平成30年の事業案の中でこのアプリを使用して、先ほどの2つの事業を実施していきたいと思う。1つは情報発信としてゴミの持ち帰りや高尾さんルールなどの情報を発信。

2つ目は、クイズイベントとして高尾山内の特定のスポットで啓発的なクイズを出していきたいと思う。

アプリの説明です。スマートフォンのアプリを使用して、現在地を確認して指定した場所でもその場所に対応したクイズを受信するというアプリ。このアプリにはクイズイベント機能が搭載されている。今回はこのクイズイベントの機能を使用して高尾山内でのクイズイベントを実施したいと考える。クイズに正解するとスタンプが貰え、スタンプをためると景品をお渡しする様な方法を計画。

このアプリを使用する上でのメリットとデメリットは、無償で利用できることが大きなメリット。デメリットは、アプリを使用するので、ダウンロードする必要がある事と、GPS機能をオンにする必要がある。また、これ以上のサービスについては有料となります。今後の展開として、商店会の個々の店舗のクーポン券や、若葉まつりやもみじ祭りなどのイベントでスタンプラリーなどを検討。この場合は有償。基金の1周年企画としてアプリの提案。

杉崎座長 ありがとうございます。資料3につきましては今後まだまだ色々な展開があろうかと思えますので補足資料として個別事業のイメージを膨らます程度にさせていただいて、本日は事業の大枠を示した資料2による審議をお願いしたいと思います。それではご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

佐戸博委員 ブッポウソウは子供の頃は聞いたことはありますが、今はないんですか

事務局 最近は見ないです。

佐戸博委員 愛知県の蓬来寺山はブッポウソウの有名なところですが、最近はずっかりブッポウソウを忘れていました

- 事務局 1970年頃までは高尾山にいたという話も聞く。巣箱を設置したからといってすぐに個体数が回復するものでもなく、いずれにしても長く続けていく事業かと思う。
- 佐戸勝委員 ブッポウソウは確か夜行性ではないか
- 大野会長 事務局としてはカワセミの会と話をしているのか。
- 事務局 東京都を經由して受けている話で、東京都の明治の森高尾50周年記念イベントとして行うことは決定。
- 大野会長 都の記念イベントとして行うなら、都が応援する話ではないのか。
- 事務局 都はその活動を認定する立場かと思う。
- 杉崎座長 どこが主体で進めるのか今の説明ではよく分からない。東京都の運動に賛同するカワセミの会を応援しようとしているのか、都の事業なら都がお金を出せばいいのだから。
- 増田委員 協議会でしょう。カワセミの会もメンバーでアイデアが出たのだと思います。冠を付けたイベントをやりたいのでは。
- 杉崎座長 補助の対象は協議会の構成員であるカワセミの会を取り組みに対して支援するということか。
- 観光課 東京都が50周年イベントを募ったところブッポウソウの個体数回復の案がハ王子・日野カワセミの会から上がって来て、都ではその案を承認することになるのですが、資金的な面でご協力願えませんかというお話。
補足説明です。現時点では具体的なことは決まって無く、協議会の方から投げかけがあって子供たちが巣箱のデザインを考えて協議会が作り、それに対する費用を基金で応援してくれないかという協力。個体数の調査や巣箱の管理は、八王子・日野カワセミの会がやっていただけという話。5年10年後、巣箱の劣化による作り替えなどに掛かる費用について、は今後検討する余地はあると思う。
- 杉崎座長 基金側が高尾山で活動している団体を都に照会して推薦をしていただくのは分かりやすい話だが、今のお話は聞きようによっては都がお金を出せないから出しても聞こえる。役割分担があると思う。

- 大野会長 環境保全基金は、環境保全のために基金を設けている。高尾国定懇話会は高尾山のいろいろな問題について応援をしている。
- 滝本委員 ねじれが起きているのは感じるので整理をして頂きたい、アイデアとしては高尾山らしくて良いが、巣箱を置いて終わりではつまらないので、なかなか目が出なくても継続したほうが良いが、実施の前にブッポウソウの調査が必要
- 杉崎座長 運動としてただ巣箱を置くだけでなく、大きな目標として数年かけて戻ってくる環境を作るために関われる動きにしたい。
東京都が推薦している大きな動きに関わって、高尾山の中期的な将来の姿が想像できて団体に助成できるストーリーが作れば問題はないのではと思う。
高尾山応援基金が助成していることが分かるようにアピールしたい。
他にご意見ございますか。
補足のアプリについては、何を説明しているのか分からない方もいると思いますが、ポイントはタダで出来るということでしょうか。アプリについては案なので、たたき台として事業者と作っていき、これ自体を承認するという事にはせず全体像について議決、承認をいただければと思う。よろしいでしょうか
- 一同 (「異議なし」の声)
- 杉崎座長 ありがとうございます。今年度の事業計画及び予算書(案)をご承認いただきました。それでは残りは報告事項、お願いになりますでしょうか。資料4について事務局から説明をお願いいたします。
- 事務局 事業計画の中にある山の日イベントについてです。
昨年は3日間でしたが、今年は11,12の2日間になります。イベントの概要ですが、599ミュージアム、高尾山口駅前、山頂で色々な催しがあります。参加内容ですが場所は山頂と清滝駅前の2か所で行いたい。昨年も好評だった体験コーナーも行いたいと思う。先ほどのアプリについても実施したい。山頂で2名の応援、清滝で4名の応援の協力を頂きたい。ノベルティについてもご協力をお願いをしたい。以上を7月15日までに事務局に回答して頂きたい。
- 杉崎座長 イベントでお金を集めるのと反応がよく分かります。基金に何が期待されているのか肌感覚で感ずることが出来るので短い時間ですが是非ご協力をお願いしたい。またノベルティですが募金をお願いするきっかけになる。企業名が入っていても結構です。

むしろ入っていたほうが、この企業様にもご協力をいただいているというアピールにもなる。

最後にもう一枚資料があります。事務局お願いします。

- 事務局 第1号議案、資料1でもご説明いたしましたが、昨年度の募金箱による募金は35,641円、これは8ヶ月での額ですのでアピール性に欠けるとの会長から指摘があり募金箱用のポスターを作りました。募金活動を行っているイメージを膨らませるためにのぼりを作ると良いとのご提案がありましたのでデザインしてみました。報告は以上です。
- 杉崎座長 のぼりがあれば人がいなくとも募金をしていることが伝わります。またデザインされているということは信頼性が高まります。
- 佐戸勝委員 のぼりの高尾の下に「山」が無いけど何か意図があるのでしょうか。
- 事務局 特にありませんが、語呂と麓を含めた高尾全体のイメージです。
- 佐戸勝委員 あえて「山」を取らなくてもいいのでは。事務局の方の語感もあるのでしょうか。
- 滝本委員 これは募金箱の横に置くのですか。
- 事務局 このサイズはイベント用です。募金箱の横にはミニチュアを考えています。
- 杉崎座長 語感やデザインもあるでしょうが、ここはがんばって「山」を入れませんか。文字間隔などで無理でしたらおまかせしますが。
他に報告事項がなければ事務局にお返しします。
- 事務局 ご承認いただき有難うございます。本日はありがとうございました。次回日程はあらためてご案内いたします。
- 志村委員 アプリについて分かり難い。事業者の説明やポイント見せながらイメージが湧くような説明が欲しい。
- 杉崎座長 特に議題が無ければ集まる必要がないので、当日でいいのでないか
次は山の日の報告と秋のイベントを議題として秋の終わりぐらいでどうですか。
- 事務局 それではそのようにあらためてご案内いたします。これにて終了します。

協議会委員出席者名簿

出席委員	欠席委員
1. 大野 彰 委員(会長)	1. 天野 守 委員
2. 志村 勝 委員	2. 山本 通陽 委員
3. 船江 栄次 委員	3. 石井 征二 委員
4. 藤本 雅史 氏(代理)	
5. 林 康男 委員	
6. 佐戸 博 委員	
7. 佐藤 伸二 委員	
8. 滝本 慶三 委員	
9. 杉崎 和久 委員(座長)	
10. 廣瀬 勉 部長(代理)	
11. 加藤 潔英 委員	
12. 辻 綾氏(代理)	
13. 坂口 俊章 委員	
14. 小宮 猛 委員	
15. 佐戸 勝一 委員	
16. 松本 晃一 委員	
17. 田口 忠久 委員	
18. 大黒 俊明 委員	